

改革・改善サイクルに係る対応方針

水道部

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
水道保全課	施設維持管理（所）	漏水調査事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組み方策を評価。</li> <li>・スケジュール感をもって検討を。</li> </ul>	改善	<p>平成21年度から平成25年度までは、市域を4ブロックに分け、平成20年度以前の5年間で、漏水件数が多い地区に優先順位をつけ、計画的に調査した。</p> <p>平成26年度は、平成25年度以前の5年間で、調査未実施かつ漏水が多い地区を選定し調査した。その結果、平成26年度上半期の漏水発見率は、昨年度の4倍(0.55%)となった。</p> <p>このことから、毎年度、直近の漏水状況を勘案し、調査対象地区を選定することが漏水発見率の向上に効果的だと考えられる。</p> <p>平成27年度は、調査対象区域の選定については、平成26年度と同様とするが、調査方法については、定点監視型の漏水調査機器も活用し、調査費用の削減、作業効率の向上を図る。平成26・27年度の漏水発見率の実績を検証し、その後の調査実施の方向性を検討する。</p> <p>なお、漏水件数は、主な発生原因である鉛管の解消とともに減少がみられる。今後、鉛管解消の進捗とあわせ、有収率(有収水量/給水量)の推移を見ながら、調査の継続を見極める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より効果的な調査の実施</li> <li>・調査費用の削減</li> </ul>	